

地域密着型サービス評価の自己評価票

(部分は外部評価との共通評価項目です)

取り組んでいきたい項目

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1	<p>○地域密着型サービスとしての理念</p> <p>地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている</p>	<p>・GHの基本理念の中に「家庭的な環境と地域住民との交流の元で、ご利用者が自分らしく生活することができるように支援します」と掲げている。</p>	
2	<p>○理念の共有と日々の取り組み</p> <p>管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる</p>	<p>・職員同士、業務の中で気付いた点等を、お互いに言い合える雰囲気を作っている。</p>	
3	<p>○家族や地域への理念の浸透</p> <p>事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる</p>	<p>・GHに地域の方を招いて入居者と一緒に時間を過ごし顔なじみになりGHのことを理解して頂けるようにしている。 ・地域の公民館にも広報誌を置かせてもらい、GHの事を理解して頂く様にしている。</p>	
2. 地域との支えあい			
4	<p>○隣近所とのつきあい</p> <p>管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている</p>	<p>・散歩等で地域の方と出会った時等、積極的に挨拶を交わし、交流を深めている。</p>	<p>○</p> <p>・これからは実際に地元の方が散歩のついでにお茶でも飲んで行けるような雰囲気を目指したい。</p>
5	<p>○地域とのつきあい</p> <p>事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている</p>	<p>・らっきょう漬けや、料理教室等に地域の方に呼びかけ、参加して頂いている。</p>	<p>○</p> <p>・今後も地域の一員として地域の行事に交流を積極的に参加して行きたい。</p>

福岡県 グループホーム 第二こすもす

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	<p>○事業所の力を活かした地域貢献</p> <p>利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる</p>	○	<p>・地域の方に、役に立てるような事を探して取り組んでいきたい。</p>
3. 理念を実践するための制度の理解と活用			
7	<p>○評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>		
8	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>		
9	<p>○市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>		
10	<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p>	○	<p>・今まで、該当する入居者・家族はいなかったが今後必要な方がおられたら情報を伝えていきたい。</p>
11	<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制			
12	<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>・契約、解約時は契約内容に沿って、説明し家族の状況や不安を尋ねている。</p>	
13	<p>○運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>・毎日の生活の中でも利用者に意見を聞いたり、サービス担当者会議では本人に参加していただき意見・不満・苦情がないか確認している。また、直接言いにくい事も考慮し、ご意見を備え付け、利用者には伝えている。</p>	<p>○</p> <p>・苦情、要望に関しては入居者、家族からは言いにくくあまり言われないので、こちらの方から声掛けし何でも言って頂けるような雰囲気を作っていきたい。</p>
14	<p>○家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>・面会時は、日常の様子や健康状態を、お伝えしている。行事の写真等も見て頂いている。</p>	
15	<p>○運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>・家族が面会時は、何か不満や要望がないか常に尋ねたり、玄関に匿名の連絡箱を設けたりして、意見をいただけるようにしている。電話でも、要望や苦情を受け付け、意見を真摯に受け止め、サービスの向上に繋げるように努めている。</p>	
16	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>・毎月、GH会議に管理者や上司が参加し、職員が発言する場を設け、意見や提案を聞いている。また、目標管理シートを個々で作成し、上司と部下の面接の機会も設けている。毎月、行事担当者を決め職員のアイデアや意見を聞きながら行事を行っている。</p>	
17	<p>○柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p>	<p>・必要時は、上司が勤務の調整を行っている。</p>	

福岡県 グループホーム 第二こすもす

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
18	<p>○職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>・極力、移動・離職を抑え、移動の際は利用者へのダメージを防ぐように、GH介護に適した人材を選出している。</p>	
19	<p>○人権の尊重</p> <p>法人代表者及び管理者は、職員の募集・採用にあたっては性別や年齢等を理由に採用対象から排除しないようにしている。 また、事業所で働く職員についても、その能力を發揮して生き生きとして勤務し、社会参加や自己実現の権利が十分に保証されるよう配慮している</p>	<p>・経営母体である社会福祉法人が職員を採用しており、性別・年齢に制限なく障害者も受け入れている。</p>	
20	<p>○人権教育・啓発活動</p> <p>法人代表者及び管理者は、入居者に対する人権を尊重するために、職員等に対する人権教育、啓発活動に取り組んでいる</p>	<p>・勉強会で、人権教育・啓発活動を取り上げている。</p>	
21	<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>・職員の段階に応じた研修を受ける機会を設けている。 ・法人内での研修は、勉強会という形で行われ参加している。 ・GH会議でも、介護・看護の基礎知識等、テーマを決め勉強会を行っている。</p>	<p>○</p> <p>・勉強会・研修に関わらず必要な情報があれば、随時取り上げて行きたい。</p>
22	<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>・研修等で知り合った、同業者と情報交換をしサービスの質の向上を図っている。</p>	
23	<p>○職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる</p>	<p>・職員のボウリング大会や花見などで、ストレス解消を図っている。</p>	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
24	<p>○向上心を持って働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている</p> <p>・職員全員が一定期間内での目標を設定し、管理者と本人が達成度を評価しサービスの向上に繋げていくよう努めている。 ・資格取得を推進している。</p>		
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
25	<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p> <p>・家族から利用者についての相談があった時は、職員が出向き本人に面会し、話を聞いている。</p>		
26	<p>○初期に築く家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p> <p>・家族からの要望を極力受け入れるように努めている。</p>		
27	<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p> <p>・相談内容を良く聞き、GH対応ではない方の家族の場合は、他の事業所や関係者の紹介をしている。</p>		
28	<p>○馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p> <p>・かかりつけ医、美容院等は本人の希望に沿うようにしている。</p>		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援			
29	<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p> <p>・若い職員は、料理や編み物等を教えて頂いている。</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
30 ○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えている関係を築いている	・家族の面会時や電話連絡の時等に、本人の状況を説明し、いい方向であれば家族と一緒に喜び、体調が悪かったりすると一緒に心配したりする。また家族より本人の馴染みの美容室に連れて行ってもらったり本人の好きな物の差し入れをされたりと家族の協力も得ている。		
31 ○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	・認知症介護で家庭内が、ギクシャクされていた家族も入所で距離を置くことにより、お互いに優しくなれ明らかに関係がよくなった家族等があり、お互いの気持ちを考慮し支援している。	○	・入居者と家族が離れた事で、今まで大変だった事から開放され客観的に見られる様になり、関係も良くなれる事が多い。今後も両者のパイプ役となって良好な関係を保っていききたい。
32 ○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないう、支援に努めている	・妹さんと、かかりつけ医に行くのが習慣であった利用者は妹さんの協力で今までの馴染みの担当医を受診されている。 いきつけの美容室に家族と出掛ける事を支援している。		
33 ○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	・日中は、個室に居るよりホールで、皆で過ごす事が多く、気の合う入居者同士や世話好きな入居者などの性格を把握し席を配慮する。		
34 ○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	・長期入院で退所となり、身体的にレベル低下にて法人が持つ特養に入所されたりする事例が数件あり、職員の移動で本人や家族と顔なじみの職員もいたりする。本人・家族からは安心という声を聞く事がある。一旦、自宅復帰し法人が運営する小規模多機能を利用された事例もあった。	○	・退所された方や、家族からの問合せや相談があれば、快く受け入れていきたい。
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント			
1. 一人ひとりの把握			
35 ○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	・ケアプラン更新時、本人・家族の希望、意向を確認し、プランに生かせるように努めている。 ・入浴時などのゆったりとされた時に、話を良く聞き、ケアプランに取り入れている。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
36	<p>○これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p>	<p>・本人や家族から十分に聞き介護に取り入れられるように努めている。</p>	
37	<p>○暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている</p>	<p>・申し送りや処遇記録などに、入居者の状況を記入し職員全員が情報を把握している。</p>	
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し			
38	<p>○チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>・利用者一人ひとりの、職員担当者を決め、6ヶ月に1回ケアカンファレンスを行い家族、本人交えてそれぞれの意見を取り入れた介護計画を作成している。</p>	
39	<p>○現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>・本人の状況が変わった場合は新たにカンファレンスを行い、現状に応じたケアプランを作成している。</p>	
40	<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>・日常の暮らしの様子や本人の言葉、排泄状況、食事・水分摂取量のチェックなど身体的状況を記録している。</p>	<p>○ ・センター方式を取り入れていきたい。</p>
3. 多機能性を活かした柔軟な支援			
41	<p>○事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>・空き部屋を利用したショートステイの受け入れを行っている。</p> <p>・家族が本人の居室に宿泊したいと要望があれば応じる支援を行う。</p> <p>・本人の誕生日には、家族にも食事を一緒に楽しんでいただく支援を行っています。</p>	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働			
42	<p>○地域資源との協働</p> <p>本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している</p>	<p>・ボランティアは随時受け入れ、消防署は火災訓練、救命法など指導に来て頂いている。</p>	
43	<p>○他のサービスの活用支援</p> <p>本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている</p>	<p>今までのグループホーム以外のサービス利用の希望はなく行っていない。</p>	<p>○</p> <p>・今後取り組んでいきたい。</p>
44	<p>○地域包括支援センターとの協働</p> <p>本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している</p>	<p>・虐待などの理由で入所が必要な利用者など、民生委員や包括支援センターと連絡し合いながら受け入れ、支援の方向に持って行っている。</p>	
45	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>・希望される、かかりつけ医を受診して随時医療機関との連絡を行っている。</p>	
46	<p>○認知症の専門医等の受診支援</p> <p>専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している</p>	<p>・必要時は、かかりつけ医を受診し分からない事を聞いたり相談したりしている。</p>	
47	<p>○看護職との協働</p> <p>利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている</p>	<p>・看護師が1名おり、毎日バイタルチェックを行い、変化があれば主治医との、相談・連携を取っている。</p>	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
48	<p>○早期退院に向けた医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している</p> <p>・入院中も、度々入院見舞いや洗濯物の交換などを行い利用者の状態を見たり病院関係者や家族から情報を得、早期退院に向けている。</p>		
49	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p> <p>・ターミナルケアに対しては、マニュアルを作り家族にも説明しており準備をしている。</p>		
50	<p>○重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている</p> <p>入所時には、家族に意向確認しており、状態変化の際も検討するようにしているが、今までの、現状では、終末期の支援の前に入院されている。</p>	○	・今後希望があれば取り組んでいきたい。
51	<p>○住み替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている</p> <p>・ケア職員が、その方に多く関わり、移動時の不安軽減に努めている。 ・ケア関係者で十分な情報交換を行い、職員全体がその人の状況把握してダメージを防いでいる。</p>	○	・退所時は、家族や本人との話し合いを重ね、本人の納得できるような情報交換を行う。
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
1. その人らしい暮らしの支援			
(1)一人ひとりの尊重			
52	<p>○プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p> <p>・利用者には、敬語を使い、名前呼びかけている。また個人的なことを話題にしない。又、記録は必要時以外は見えないうちに保管している。</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
53	<p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている</p>		
54	<p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>		
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
55	<p>○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている</p>		
56	<p>○食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>		
57	<p>○本人の嗜好の支援</p> <p>本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している</p>		
58	<p>○気持ちよい排泄の支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している</p>		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
59	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	・2日に1回の入浴をしている。	○	・大体、午後からと時間帯がきまっているので希望によっては、午前中や夕方にも入浴出来るように検討していきたい。
60	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	・その人の状態に合わせて、昼食後に休んで頂いたりしている。	○	・昼夜逆転を引き起こさないように、その人なりの適度な休息を与えられる様に支援していきたい。
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
61	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	・家事の手伝い、また、好きな歌を唄う、園芸を手伝う、手芸をするなど、個人に応じた役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている。		
62	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	・ショッピングに同行し、レジでの支払いの時に、職員見守りにて支払いをして頂いている。		
63	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	・本人の希望により、散歩、買物、ドライブに出掛けている。		
64	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	要望を聞き、月に数回バスハイク、足湯、外食を計画し、皆で外出を楽しんでいる。近所の方もお誘いしている。	○	・参加を希望されない入居者がおられるので、負担にならない様に気をつけながら根気強く、参加を呼びかけていきたい。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
65 ○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	・希望時には電話の取次ぎを行ったり、年賀状等に、本人自筆にて書いて頂き職員も書き添えている。		
66 ○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	・家族が来所されたときは、気持ちよく迎えている。入居者と一緒にお茶や、おやつを楽しんで頂いている。誕生会の際は、家族はお誘いし一緒に会食される機会を設けている。	○	・誕生会の際は、家族アンケートに回答頂き、満足度を調べているが普段の来所時もアンケートなどを行い、スタッフが気づかない点を改良していくようにしていきたい。
(4) 安心と安全を支える支援			
67 ○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	・身体的拘束に関する勉強会を数回行い、職員全体に知識を浸透させている。		
68 ○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	・居室、玄関は施錠していない。		
69 ○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	・利用者の応じた距離を保ちながら安全確認をしている。 ・夜間は、ちょっとした物音で起きやすいので、睡眠を妨げない安全確認に努めていきたい。		
70 ○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	・共同生活空間となるところでは、目の届かないところに収納している。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
71	<p>○事故防止のための取り組み</p> <p>転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる</p>	<p>・年に2回の防火訓練を行って、職員全員が熟知している。危険だと感じた時は、ヒヤリハットを提出し今後の対応を検討し、事故防止に努めている。</p>	
72	<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている</p>	<p>・応急手当や初期対応、心配蘇生法の勉強会を行っている。</p>	
73	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	<p>・半年に1回、火災時の避難訓練・消防訓練を消防署の協力を得て行っている。</p>	
74	<p>○リスク対応に関する家族等との話し合い</p> <p>一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている</p>	<p>・転倒が予測される入居者の場合は、家族に相談しベッドを止めて、布団を使用して頂く等の対応策を行っている。</p>	
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援			
75	<p>○体調変化の早期発見と対応</p> <p>一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている</p>	<p>・毎朝バイタルサイン、排泄状態のチェックをしている。発熱、血圧上昇等いつもより数値が違う場合は、赤色で記入し再計測をしている。又顔色、食欲などの体調のサインも把握している。</p>	
76	<p>○服薬支援</p> <p>職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p>	<p>・職員が確認できるように、薬の説明書などをファイルしている。</p>	

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
77	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	<ul style="list-style-type: none"> ・出来るだけ水分を摂って頂いたり、食事に繊維を取り入れるなどの工夫をしている。 ・看護師が毎朝、排便の有無を確認し、必要時には処置を行っている。 		
78	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	<ul style="list-style-type: none"> ・毎食後、口腔ケアを実施し清潔を保てるようにしている。義歯も必要に応じ管理している。 		
79	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	<ul style="list-style-type: none"> ・食事摂取量、水分摂取量を一人ひとりチェックし、本人なりの摂取量が満たされる様に支援している。また、個々に応じた食事形態で摂取している。 		
80	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	<ul style="list-style-type: none"> ・毎年、入居者、職員全員のインフルエンザ予防接種注射を行い確認をしている。感染予防マニュアルも作成している。 ・職員勉強会で予防や対応についての話をして周知徹底を図っている。 		
81	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	<ul style="list-style-type: none"> ・衛生点検表を作成し、毎日チェックしている。 		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1)居心地のよい環境づくり				
82	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	<ul style="list-style-type: none"> ・玄関前の、手作りプランターに花を飾り、柔らかい親しみのある雰囲気作りに努めている。 	○	<ul style="list-style-type: none"> ・近所の方が気軽に、お茶を飲みに来て頂ける様な雰囲気を工夫していきたい。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	・リビングなどの共同スペースには、季節の花や行事の飾りをしている。光はスクリーンで調節している。	
84	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	・ホールに椅子、ソファ、テーブルを置き、仲の良い方同士が過ごす空間となっている。	
85	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	・入所時には、本人の馴染みの物(食器等)、使い慣れたものを居室に持参して頂くように家族に相談している。 ・数人の方は、本人所有の品物を持参して利用されている。	○ ・家族の面会時には、本人の馴染みの物があれば持ってきて頂けるよう声掛けしていく。
86	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のおよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	・汚染した、おむつ類は紙等に包み、蓋付のポリバケツに入れている。適宜、換気扇を窓を開けたりしている。 ・各部屋にあるエアコンは、個別に調節でき、ホールのエアコンもこまめに調節している。	
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり			
87	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	・段差はなく廊下やトイレ、浴室には手すりを設置して利用して頂き、転倒や徘徊の危険がある入居者には、見守りや声掛けを徹底し、所在、安全確認をしている。	
88	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	・トイレは大きな文字で表示し、各居室の入り口付近にはそれぞれの写真を表示している。	○ ・大きな文字表示だけでは理解できない入居者もおられるので、理解がたやすくなる様支援していきたい。
89	○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	・玄関前に花や野菜のプランターを置き、水やりや収穫などが楽しめる様にしている。	○ ・日常的に入居者自身が、水やりなどをされる様に支援していきたい。

V. サービスの成果に関する項目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
項 目			
90	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○	①ほぼ全ての利用者の
			②利用者の2/3くらいの
			③利用者の1/3くらいの
			④ほとんど掴んでいない
91	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある
			②数日に1回程度ある
			③たまにある
			④ほとんどない
92	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
93	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
94	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
95	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
96	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
97	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と
			②家族の2/3くらいと
			③家族の1/3くらいと
			④ほとんどできていない

項 目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
98	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	①ほぼ毎日のように
			②数日に1回程度
			③たまに
			④ほとんどない
99	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	①大いに増えている
			②少しずつ増えている
			③あまり増えていない
			④全くいない
100	職員は、生き生きと働いている	○	①ほぼ全ての職員が
			②職員の2/3くらいが
			③職員の1/3くらいが
			④ほとんどいない
101	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
102	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族等が
			②家族等の2/3くらいが
			③家族等の1/3くらいが
			④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

- ・クラブ活動を実施し、ひとり一人の得意分野を見出し熱中できる雰囲気を作る。(生花、お茶、手芸、工作等)
- ・外気にふれる機会を作り、花見、大川荘の天然足湯、ドライブ等に出掛けている。また地域の方もお誘いしている。
- ・地域の祭りや催し物に積極的に参加し親睦を図っている。
- ・誕生会には、家族の方にも参加の呼び掛けをし、一緒に昼食を食べる機会を作っている。